

障害者への 就労支援を

熊本市で
セミナー

熊本市のNPO法人
おーさあ(小笠原嘉祐
理事長)は15日、難病
や発達障害、高次脳
機能障害などのある人
の就労支援を考えるセ
ミナーを熊本市の県民
交流館パレアで開い
た。

障害が見た目に分か
りにくく障害者手帳の
交付を受けないまま公
的支援を受けられない
ケースなどがあるた
め、より多くの人に課
題を知ってもらい、就
労環境を整えようと初
めて企画した。

同法人が全国の24
4企業で実施した雇用
調査を報告。170社
が、社員の発達障害な
どについて「仕事があ
らなければ関係ない」と回
答したことを紹介し、
こつした病気を抱える
人に対して「自ら働く

ことが困難だとの考え
にとらわれすぎて、就
業の壁を高くしてはい
けない」と助言した。
続いて、くまもと発
育クリニックの岡田稔
久医師や立命館大の天
田城介准教授ら8人が
意見交換。「障害者手

帳や診断書の有無にか
かわらず、国は誰もが
安心して就業できる環
境を整えるべきだ」各
障害者団体が一致して
問題解決に向かうこと
が必要だ」といった意
見が出た。

(飯村直亮)